

磐梯山の火山活動解説資料（平成 28 年 6 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

山頂付近を震源とする地震が一時的に増加しましたが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1、図 2-①）

剣ヶ峰に設置している遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁の噴気の高さは 50m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震や微動の発生状況（図 2-②～⑥、図 3、図 4）

10 日に、山頂付近を震源とする地震が日回数 53 回と一時的に増加しましたが、そのほかの期間は概ね少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 5、図 7）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（6 月 14 日）

- ・ 剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置している遠望カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだ部分が山体北側火口壁からの噴気で、この時観測された噴気の高さは 50m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 7 月分）は平成 28 年 8 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

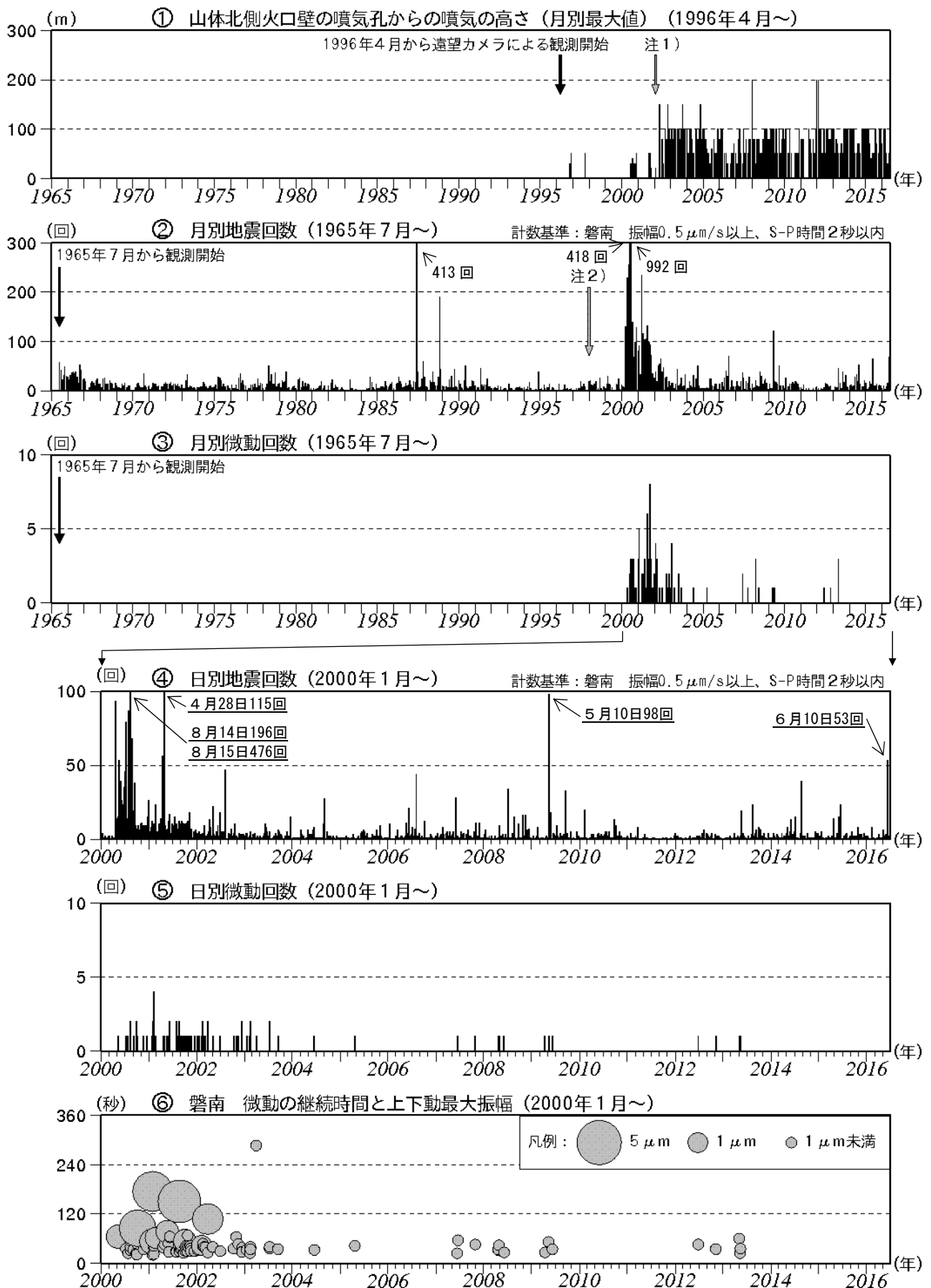


図2 磐梯山 火山活動経過図（1965年7月～2016年6月）

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年3月以後は24時間観測による高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

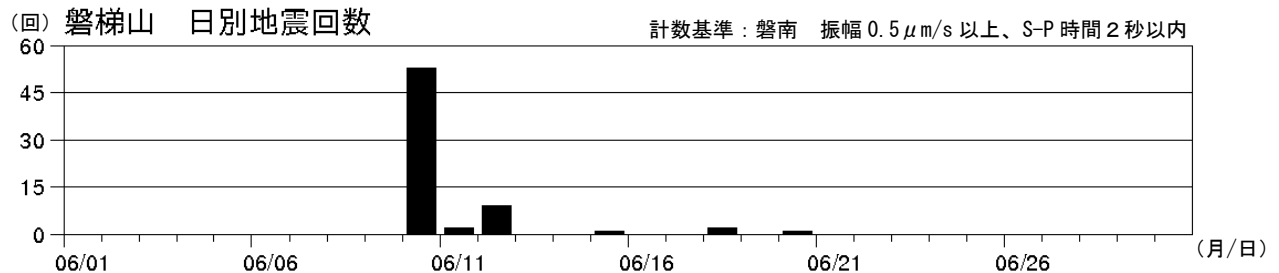


図 3 磐梯山 日別地震回数（2016 年 6 月 1 日～30 日）

・ 10 日に多い状態となりましたが、そのほかの期間は概ね少ない状態で経過しました。

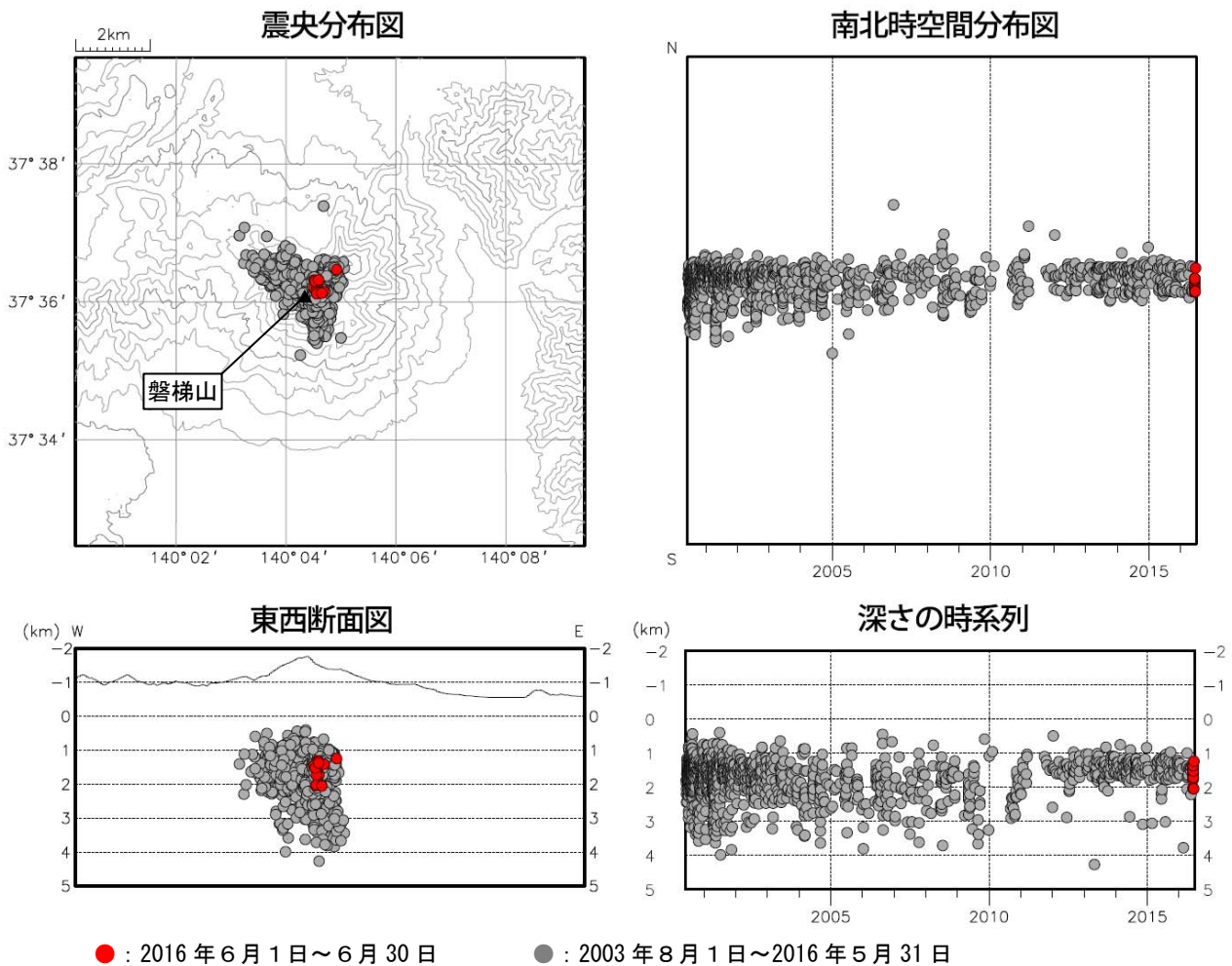


図 4 磐梯山 地震活動（2000 年 6 月～2016 年 6 月）

・ 10 日に、山頂付近を震源とする地震が一時的に増加しました。



・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

・①～⑦は図7のGNSS基線①～⑦に対応しています。・グラフの空白部分は欠測を表しています。

* 1 大道東観測点の機器を更新し、移設を行いました。 * 2 西磐梯観測点の機器を更新しました。

- 4 -

